

自殺総合対策事業概要

事業No.	事業名	事業概要	実績				現状と課題, 平成31年度事業(案)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
相談支援事業	1	こころといのちの寄り添い支援 自殺未遂者再企図防止事業 救命救急センター・警察・消防・生活保護担当者等から紹介された自殺未遂者及び家族等に対し、面接・訪問・電話等により支援を行う。 また、関係機関等と連絡調整を行い、地域における支援のネットワークを構築する。	実人数:35名 (うち新規:22名) 延相談件数:1,232件	実人数:46名 (うち新規31名) 延相談件数:931件	実人数:39名 (うち新規15名) 延相談件数:807件	実人数:42名 (うち新規26名) 延相談件数:826件 【12月末現在実績】	【現状・課題】 毎年、新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院に事業説明と支援結果のフィードバックを行っている。ケースワークを通して、地域の関係機関との連携も図られてきている。 本人が希望せず、支援につながらないケースについては課題である。 【平成31年度の取り組み】 新潟大学医歯学総合病院、新潟市民病院への事業説明・フィードバックを継続し、さらに連携を深める。個々のケースに合った、地域におけるネットワークを構築しながら支援していく。
	2	くらしとこころの総合相談会 こころの健康や借金等の問題に、弁護士・保健師・薬剤師・精神保健福祉士等が対応するワンストップの総合相談会 ・定例日…毎月第3金曜日 18時～21時 ・拡大日…9月、3月 第3金曜日 15時～21時 ・区開催日…9月 西区、3月 東区 13時～17時	開催回数:16回 延相談人数:71名	開催回数:13回 延相談人数:87名	開催回数:13回 延相談人数:88名	開催回数:10回(全14回) 延相談人数:64名 【12月末現在実績】	【現状・課題】 毎月第3金曜日の定例相談会を続けてきたことで事業は定着してきた。 本事業の情報入手手段としては、利用者へのアンケートでは「チラシ」と「市報」という回答が多い。 相談枠に対する充足率は約60%である。 【平成31年度の取り組み】 相談を必要としている市民に情報が届くよう、チラシの配布先を増やすなど周知方法を工夫していく。
	3	こころといのちのホットライン 平日の日中に相談することが困難な市民を対象に、平日の夜間や休日に電話相談を実施	延件数:7,986件	延件数:8,898件	延件数:9,324件	延件数:8,151件 【12月末現在実績】	【現状・課題】 相談件数は年々増加している。 こころといのちのホットラインでは、同一相談者からの繰り返される電話が多く、電話相談を必要としている人がタイムリーにつながっていない可能性がある。
	4	こころの相談ダイヤル 深夜等の時間帯に、業者委託の電話相談を実施(こころの健康センター、こころといのちのホットラインと合わせ、24時間365日体制の電話相談となる。) 平成29年度～回線を1回線から2回線に増設	延件数:869件	延件数:1,479件	延件数:2,632件	延件数:1,879件 【12月末現在実績】	【平成31年度の取り組み】 事業の継続
事業推進体制	5	自殺対策協議会 自殺防止対策に関わる関係機関・団体等で構成する自殺対策協議会を設置し、自殺総合対策の推進を図る。	開催回数:1回 出席委員数:20名	開催回数:1回 出席委員数:17名	開催回数:1回 出席委員数:15名	開催回数:3回 出席委員数: 第1回22名 第2回21名 第3回17名	【現状】 平成30年度は、第2次行動計画策定のため3回開催 【平成31年度の取り組み】 第2次行動計画の本編及び概要版を作成し、協議会に報告
	6	若年層における自殺対策協議会作業部会 若年層の自殺の現状や課題等について協議検討を行い、自殺対策の強化を図る。 【平成28年度 検討テーマ】 ・大学生向け人材育成プログラムの開発及び研修会の実施について 【平成29年度 検討テーマ】 ・若年層向けゲートキーパー養成テキストの作成及び研修会の実施について 【平成30年度 検討テーマ】 ・若年層向けゲートキーパー養成テキストを活用した研修会の実施について	開催回数:1回 出席委員数:2名	開催回数:3回 出席委員数:6名	開催回数:2回 出席委員数:4名	開催回数:1回 出席委員数:2名	【現状・課題】 若年層の自殺の現状や課題等について検討 平成29年度にゲートキーパー養成テキストを作成し、平成30年度にテキストを活用した研修会を実施 教育委員会との連携についても検討していく。 【平成31年度の取り組み】 教育委員会との連携を含め、若年層対策について検討
	7	自殺対策庁内推進会議 自殺防止対策について庁内関係各課で情報を共有するとともに、庁内のネットワークを構築し、自殺対策の強化を図る。	開催回数:1回 出席委員数:31名	—	—	開催回数:1回 出席委員数:32名	【現状】 平成30年度は、第2次行動計画策定のため1回開催 第2回・第3回の自殺対策協議会に、委員がオブザーバーとして参加 【平成31年度の取り組み】 第2次行動計画の本編及び概要版を作成し、委員に説明・周知
	8	自殺対策実務者ネットワーク会議 自殺予防対策に取り組む関係機関・団体との連携を強化し、顔の見えるネットワークを構築するとともに、協働できる事業について企画・検討等を行う。 《会議のメンバー》 ・新潟県弁護士会 ・新潟県臨床心理士会 ・新潟NPO協会 ・新潟市薬剤師会 等	開催回数:7回 参加者数:83名	開催回数:6回 参加者数:91名	開催回数:5回 参加者数:73名	開催回数:4回 参加者数:49名 【12月末現在実績】 ※第5回2/7(木)予定	【現状・課題】 関係機関・団体が、それぞれ自殺対策に取り組んでいる。 また、自殺対策実務者ネットワーク会議で、若年層対策を考えるプロジェクトチームを作り、勉強会を実施している。 ネットワークを維持・強化していくことが重要 【平成31年度の取り組み】 自殺対策実務者ネットワーク会議の継続、協働して勉強会を開催

自殺総合対策事業概要

事業No.	事業名	事業概要	実績				現状と課題, 平成31年度事業(案)
			平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	
人材育成事業	9	自殺予防ゲートキーパー養成研修会 ゲートキーパー養成研修会として ・市民向けの研修会 ・大学生向けの研修会 ・教職員向けの研修会(教育委員会と連携) ・若年層の支援者向け研修会 等を実施	大学生向け:1回 参加者数:15名	大学生向け:2回1コース 参加者数: (実)11名(延)22名 教職員向け:1回 参加者数:約350名	大学生及び養護教諭向け:1回 参加者数:18名 教職員向け:2回 参加者数:123人	「自殺予防のためのゲートキーパー養成テキストを活用した研修会」 薬剤師向け:3回 保健師向け:1回 多職種向け:2回 その他:2回 参加者数:延168名	【現状・課題】 ゲートキーパー養成テキストを作成し、薬剤師や保健師等を対象に研修会を実施している。 対象に合わせて、研修の内容を工夫することが必要 【平成31年度の取り組み】 研修会を継続
	10	自殺対策研修会(医療・福祉関係者向け) 医療・福祉関係者を対象に、自殺防止に関する知識の普及と地域のネットワークの構築を目的に研修会を実施する。	開催回数:1回 参加者数:129名 講演テーマ: もしも「死にたい」と言われたら～自殺リスクの評価と対応	開催回数:1回 参加者数:111名 講演テーマ: 精神科における自殺未遂者支援の実践について シンポジウムテーマ: 自殺未遂者の方を地域で支えるために～各機関の役割、連携について～	開催回数:1回 参加者数:82名 講演テーマ: パーソナリティ障害、発達障害などで感情調整が困難な人の自殺、自傷行動の理解と支援	開催回数:1回 開催日:2/23(土)予定 講演テーマ: 妊産婦の自殺予防と産後うつについて 【12月末現在予定】	【現状・課題】 毎年テーマを決めて実施している。 医療・福祉関係者の共通の課題をテーマとして考えていく。 【平成31年度の取り組み】 テーマについて検討し、研修会を継続
	11	庁内職員向け研修会 市の窓口担当職員を対象に、自殺のリスクの高い人と接する際の「気づき」や「接し方」等についての知識向上を図るため、研修会を実施する。		「市窓口担当者等向け研修会」 回数:1回 参加者数:24名 講義テーマ: メンタルヘルスの基礎知識－自殺の危険に気づくために 講義テーマ: 自殺のリスクの高い人への「気づき」や「接し方」について	「市窓口担当者等向け研修会」 回数:1回 参加者数:16名 講義テーマ: うつ病や自殺のリスクのある母とその子どもへの接し方 グループワーク	「市窓口担当者等向け研修会」 回数:1回 参加者数:28名 講義テーマ: 自殺予防のためのゲートキーパーの基本対応 グループワーク	【現状・課題】 研修会を通じて、お互いの窓口業務の理解にもつながっている。 市民と接することの多い窓口担当者がゲートキーパーとなれるよう、テーマを考え、継続して実施していく。 【平成31年度の取り組み】 テーマについて検討し、研修会を継続
	12	10代の若者の生きづらさを考える支援者向け勉強会 関係機関・団体の若者の支援者が、お互いの役割を理解し合うとともに、若年層対策の現状や課題等について意見交換し、ネットワークを構築するための研修会を実施する。			回数:2回 (主催) 第1回:県弁護士会 第2回:市薬剤師会 参加者数:132名	回数:3回 (主催) 第1回:県弁護士会 第2回:新潟市 第3回:市薬剤師会 参加者数:200名	【現状・課題】 自殺対策実務者ネットワーク会議で、若年層対策を考えるプロジェクトチームを作り、勉強会を実施している。 平成29年度から5回開催したが、継続して参加する人が徐々に増え、顔の見える関係ができてきた。 これからも、テーマを考えながら、継続することが重要 【平成31年度の取り組み】 勉強会を継続
普及啓発事業	13	事業場における普及・啓発 平成26年度に実施した「小規模事業場におけるメンタルヘルス対策実態把握調査」の結果を基に、啓発資料の作成及び配布を行い、事業場におけるコミュニケーションの促進を図る。 【平成27年度】 職場におけるコミュニケーション促進をテーマに、啓発用ポスター作成及び配布 【平成28～29年度】 同僚のSOSへの気づきをテーマにクリアファイル作成及び配布	・働き盛りの年代における自殺対策作業部会での啓発資料の検討 ・事業場向け啓発ポスター作成:6,000枚	・事業場向けクリアファイル作成:10,000枚	・事業場向けクリアファイル配布(各商工会、労働衛生医学協会等)	・事業場向けクリアファイルを研修会で配布	【現状】 平成29年度に、商工会議所、中小企業家同友会、健診機関などの協力を得て、ポスター・クリアファイルを事業場やそこで働く人に配布した。
	14	自殺防止街頭キャンペーン 広く市民に自殺予防について啓発するため、自殺予防の啓発グッズの配布や相談窓口の周知を図る。 毎年9月に、新潟駅前実施	700セット配布	1,000セット配布	1,000セット配布	1,000セット配布	【現状】 自殺防止について、広く市民に周知するため、平成21年度から実施している。 【平成31年度の取り組み】 継続して実施
民間団体補助	15	いのちの電話補助金 自殺予防を目的に活動している「新潟いのちの電話」の運営費の一部を補助する。	団体経費の一部補助	同左	同左	同左	【現状】 電話相事業の運営費の一部を補助 【平成31年度の取り組み】 事業の継続